

蔵王の樹氷と御釜

山形大学学術研究院 加々島 慎一

* 2012年2月22日



エビのしっぽと御釜



刈田岳から御釜



御 釜



御釜（空の色濃いめ）



御金遠望



御田あたり



御田あたり



馬の背



山頂の刈田嶺神社

* 2011年2月23日



蔵王山頂駅より



蔵王山頂駅より



蔵王山頂駅より



蔵王山頂駅より



蔵王山頂駅より

* 2017年3月12日



御田避難小屋近く



馬の背エビのしっぽ



馬の背エビのしっぽ



御釜



馬の背エビのしっぽ



御釜



御釜



御釜



馬の背



御釜



刈田岳



刈田岳サスツルギ



刈田岳サスツルギ



刈田岳サスツルギ



御田より上部



御田より上部

蔵王報告（2014－2018年）

松木 兼一郎

1. 2014年2月12日 ご無沙汰です

だいぶ遅れましたが、新年おめでとうございます。

今年もお世話になります。宜しくお願ひ致します。

昨日、毎年恒例の蔵王登山（坊平→刈田）に行ってまいりました。

幾つか写真を紹介します。

「今年の樹氷は好いらしい」と幾つか声を聞いていたのですが、

僕の感想としては、「例年通りの良くない樹氷」というところです。

海老の尻尾は脆く、硬いものは殆ど出会えませんでした。

1500m付近の樹氷は、女性型のそれっぽい樹氷

になってはいますが、

風下側では、雪がついてないトドマツも多く見られました。

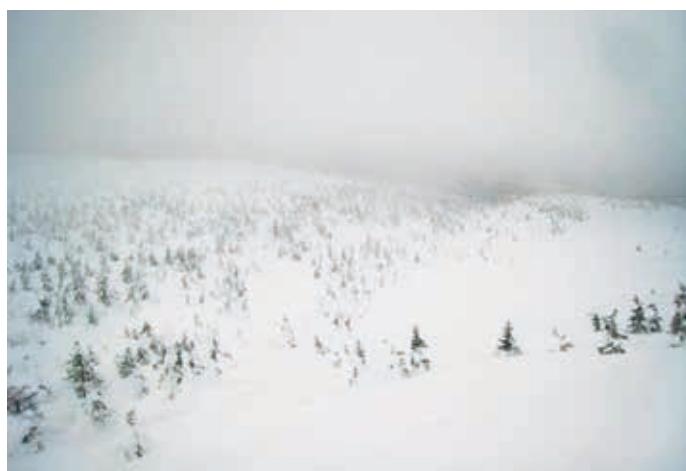
葉が落とされて、枝のみのトドマツもあり、少々心配です。

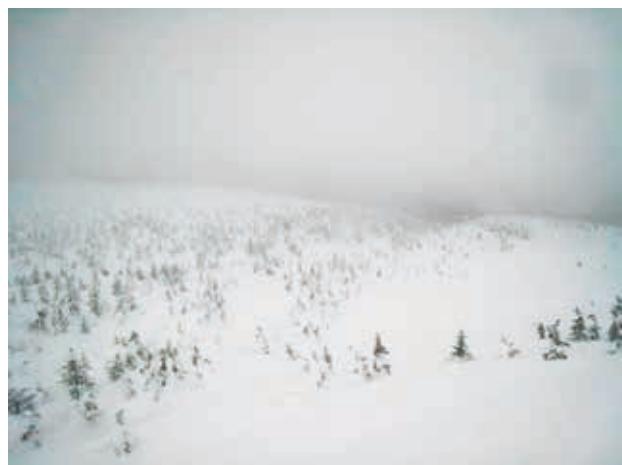
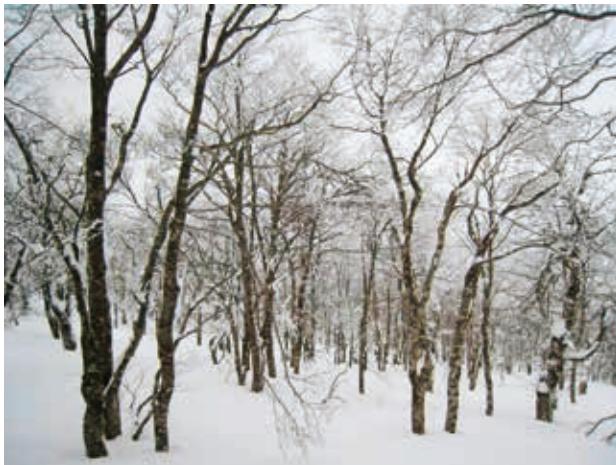
市内は終日晴れだったようですが、こちらは、リフト上駅を通過する頃には、晴れ間見えず、馬の背？刈田岳方面では、視界不良と強風でした。冬山の普通の天気、といえば、それまでですが。

乾雪が結構たっぷり積もっている箇所も多かったです。

週末の寒気が降らせた雪なのだろうと思われます。

添付の写真とあわせて、ご覧下さい。







2. 2015年1月6日 お年賀 2015

あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひいたします。

クリスマス前後に大雪が降ったためか、「樹氷がよかったよかった」という声が聞こえてきました。

このところ、12月にどかっと雪が降る傾向があるようですが、実際は、もこもこ・女性型の樹氷のようです。

来週か再来週に、今季の樹氷を偵察してこようかと思っています。

3. 2015年2月12日 蔵王坊平方面の樹氷

おはようございます。

昨日の祝日、毎年恒例の坊平方面ヘトレッキングに行ってきました。

簡単にお伝えします。

1400m付近の樹氷は、一応雪がまとわりついて樹氷の体をなしているようでもあります。全体的にだらっとしています。今回連れて行った子が、「ジェラードのようだ」と感想を述べました。まさにそんな感じです。

1500m付近の樹氷は、完成度は高いように見えます。興味深いことに、トドマツの風下側にもしっかりと雪がついている樹氷が多く見られました。だらっ

とはしていませんが、全体的にいわゆる女性型というところです。

目印用のポールや運休中のリフトのロープなどに付着したエビの尻尾は、これは嘆かわしいことですが、ぼろぼろと簡単に手で落とせるほどで、まるで、粉がたまたまくっついていたかのようです。板チョコのようなカチカチ型のエビの尻尾にはほとんど出会いませんでした。

前日、猛烈な吹雪だったそうで、その新雪があったのは理解できるのですが、ストックを突き刺すとどこまでも沈んでしまい、この時季ならあるはずの「しまった雪」になってなかつたのが、近年と比較して、おや?と思いました。

あまりにも視界が悪く、大した写真が今回は撮れませんでしたが、その中から1枚お届けします。1500m付近の樹氷です。



3. 2016年1月6日 お年賀 2016

あけましておめでとうございます。

見える蔵王も、山頂から中腹までは白いのですが、山麓にかけては殆ど雪がない様相です。

先日、志津へ行きましたら、雪が積もってはいるのですが、まだ藪が覆われていない状態。

統計に当たってみたら、例年の1/3の積雪量だそうです。

ここまで雪がない冬は経験がありません。

いったいどうなるのかと、気を揉んでしまっています。

今年もよろしくお願いします。

4. 2016年2月2日 蔵王リポート

おはようございます。

おととい、毎冬恒例の蔵王登山に行ってきました。

正確なデータに触れたわけではないですが、体感的には「こんなもんかな」という感じの積雪量でした。

坊平スキー場上部の雪は粉雪でした。

刈田駐車場付近の雪は、例年ですと「かりかり」と固くなっているのですが、踏むとぎゅっと踏みしめることができるような積雪状況でした。

当日、山形市内は晴れていたそうですが、蔵王坊平方面は視界が悪く、パートナーや道標のポールが見えないほどでした。

樹氷原を歩いているにもかかわらず、樹氷は全く見えませんでした。

しかし、正午に近づくにつれ、一瞬だけですが、視界が広がるときがありました。

写真は、そのときをとらえたものです。

急いで撮影したので、構図もばらばらです。

#626は1500m付近。

例年通り、樹氷っぽい形にはなっているものの、もこもこ型です。

エビのしっぽもできてはいるのですが、脆いものでした。

#638は1400m付近。リフト上駅の上部です。

アオモリトドマツが垂れ下がっており、折れるのではないかと危惧するほどです。

チャンスがあれば、もう一度登山する予定です。



#626



#638

5. 2016年2月11日 蔵王登山

お晩です。

本日 2／11、刈田岳まで登山してきました。

晴れの予報でしたが、現場では視界不良と強風

に悩まされました。

#756は1500m付近で撮影したものです。

#766はリフト上駅付近で撮影したものです。



#756



#766

6. 2017年1月2日 お年賀 2017

あけましておめでとうございます。

年末、月山にスノーシューに行きました。

例年以上に雪が少なく、まるで11月のような様相でした。

今季はまだ蔵王方面に繰り出していますが、樹氷がうまくできているのか、気になるところです。

今年もよろしくお願ひいたします。

追伸：

この冬は樹氷のできがあまり良くない上に、視界不良も重なり、殆ど写真を撮影しておりません。リフト上駅のすぐそばで撮影した写真が一枚あります。添付ファイルを参照願います。だらつとしていて、とても樹氷とは言えません。



7. 2018年1月1日 お年賀 2018

あけまして おめでとうございます。

今冬はいつもより雪が多いのでしょうか、先日月山に行きましたら、志津付近すでに1m以上の雪がありました。

今冬も、時機を見て蔵王刈田まで行こうと思います。

今年も宜しくお願ひします。

8. 2018年1月5日 Re: お年賀 2018

お晩です。

予定ではあさって行くつもりですが、なにぶん天候次第というところもあります。うまく行ったらということで、ご容赦願います。

9. 2018年1月7日 蔵王刈田岳 スノーシュー

お晩です。

表題の件、昨日、予定通り刈田へ行ってきました。が、あまりの視界不良のため、刈田岳山頂へは取りやめ、刈田駐車場の先で引き返しました。

予想天気図では高気圧が近付いてきているようでしたので、もうすこし視界がきくものと思っていましたのですが、せいぜいはっきり見えていたのは、1450mくらいまでで、(リフトの上駅付近)

以後は、目印のポールを見失わない様に歩くという感じでした。

#3634は、1450m付近のアオモリトドマツです。ダラっとした感じで、樹氷というには物足りない感じです。

#3636は、1550m付近のアオモリトドマツです。このあたりのトドマツは、割としっかりしており、往年の立派な樹氷という感じがします。

もっともこれでも視界がいい方で、この後すぐに、目の前の樹氷すら見えなくなりました。

雪の量は、まずまずといったところです。

昨冬の同時期は笹の葉が見えるほど小雪だったのですけど、今冬は、ふかふかの粉のような雪が積もっていた感じです。

エビのしっぽは、高度が上がるにつれて固くなっています、1550m付近では、往年の「板チョコ」のような固いエビのしっぽでした。

(#3640を参照ください)

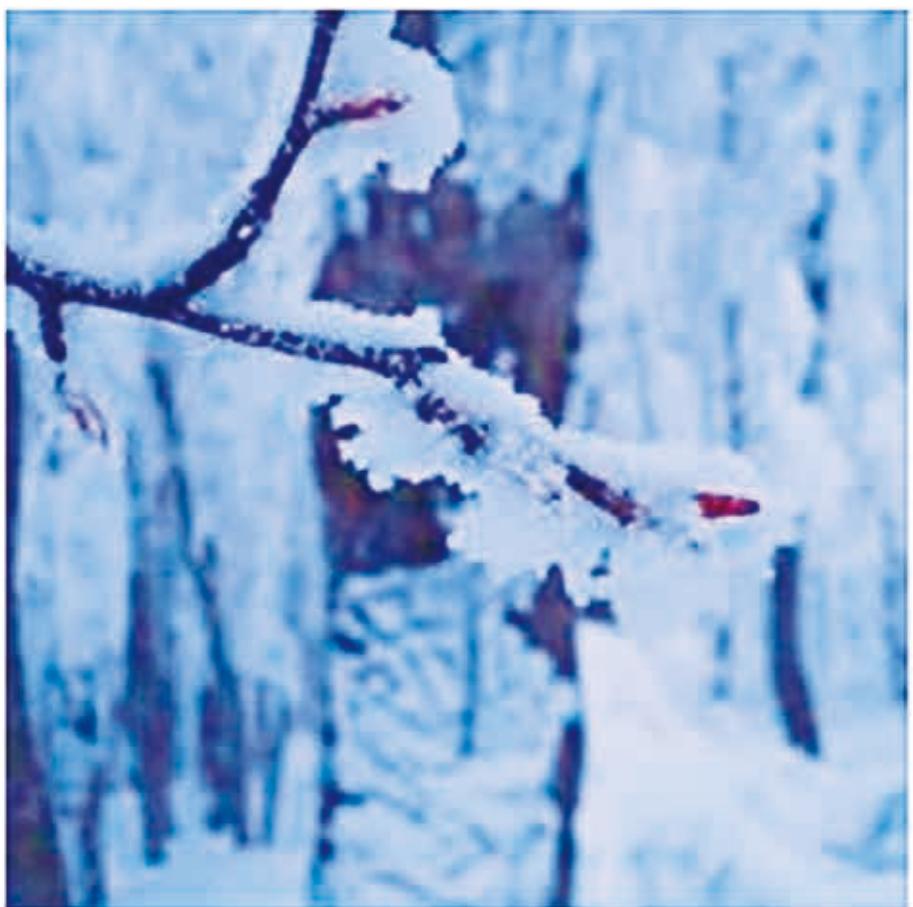
今朝、起きてみると青空。

山形市西部からは蔵王連峰がはっきり見えましたので、行くならきょうだったか…と舌打ちしております。

このところ、なかなか好天候に恵まれておりません。また今冬のどこかで行こうかなと考えております。



#3636



#3640



#3634

アイスモンスター(樹氷)の変遷地図(全国版)

山形大学学術研究院 柳澤文孝

1. はじめに

地球温暖化によって蔵王のアイスモンスター(樹氷)が衰退(下限高度の上昇・分布域の縮小・期間の短縮・スリム化)しているといわれています。

最初に温暖化とアイスモンスター(樹氷)の衰

退の関係を指摘したのは山形大学理学部物理学科の矢野勝俊教授で、1994年、(社)日本雪氷学会東北支部が発行している「東北の雪と生活 第9号」に「山形県蔵王の気象観測(1)」が掲載されています。

研究論文

75

山形県蔵王の気象観測(1)

山形大学・理 矢野勝俊・伊藤義衡・武田旬子・今野佳代子

1. はじめに

近年、地獄が温暖化しているのではないかといわれている。日本でもここ数年暖冬傾向が続いている。こうした現象は蔵王山の気候や樹氷の生成に少なからず影響を及ぼしているのではないだろうか。そこで蔵王ロープウェイ山頂駅が行なっている気象観測のデータを用いて、過去10年の蔵王の気象の傾向を調べることにした。

2. 観測内容

観測地点は蔵王山系の地蔵山(標高1,736m)と三宝荒神山(標高1,703m)に挟まれた蔵王ロープウェイ山頂駅(標高1,661m)である。(図1)



図1 地蔵山頂付近

蔵王ロープウェイが観測している内容は次の通りである。

- ・気温 駅のホームに設置してあるアルコール温度計による。
- ・風速 駅の屋上に設置してあるプロペラ式風向風速計による。
- ・風向 同上(8方位)
- ・視程 目視による
- ・天気

観測は毎日日中には毎正時おこなわれており、9時、12時、15時には必ず観測している。今回はその中でも比較的データのそろっている7時から16時の気温、風速、風向について考察していく。